

DELLInspiron640mのWindowsVista移行奮戦記

2014.10.23

1. プロローグ

ことのはじまりは、DELLInspiron640mがWindowsXPのサービス終了に伴って遊休資産となっていたことであった。当初このパソコンをWindows8.1に移行することを考えていた。ここにもう一つの難題が起きた。DELLVOSTRO1710(WindowsVista)のバックライト突然故障したのである。そこで、この修復を始めることにした。

1) バックライトの修理

バックライトは直径2mm、長さが375mmの冷陰極管(C CFL: Cold Cathode Fluorescent Lamp)といわれるものである。1本1000円送料700円で購入した。交換はそれほど難しいものではなかった。ただ、ハンダ付をしなければならないところがいやらしいことと、このハンダ付けをしたところがむき出しになるのでビニールテープでカバーした。ところが、冷陰極管が点灯せずバックライトは機能しないのである。そうなる原因はインバーターということになる。

この冷陰極管は1000Vの高圧でなければ点灯しない。この高圧電力とはいっても電流は小さいようである。この電力をつくっているのがインバーターである。



2) インバーターの修理

インバーターは冷陰極管のすぐ下にあった。こんなに小さい基盤で構成されている。



右端に冷陰極管に電力を供給するコネクタが見える。その左側に危険のマークがある。このあたりにフューズがあるはずであり、そのフューズが切れているものと思われる。ところがどれなのかわからない。インバーターの交換も考えたが、形状に問題があり、限られたスペースに納まるか容易に判別できないので、インバーターの交換はあきらめた。そうするとVOSTRO1710は廃物である。

3) 使用できるパーツを探る

廃物となるパソコンの中で使用できるパーツは、メモリ(2GBが2枚)とハードディスク(320GB)くらいである。この2個のパーツを取り出し、DELLInspiron640mに転用することにした。

2. Inspiron640mのVISTA化

1) メモリ(2GBの2枚)とハードディスクを交換

メモリ(2GBの2枚)とハードディスクをInspiron640mにセットして電源をいれたところ、簡単にWindows Vistaが起動した。これにはびっくりしたね。ハードディスクにはいろんな残骸がいっぱい詰まっていたので、不要なものを削除していった。

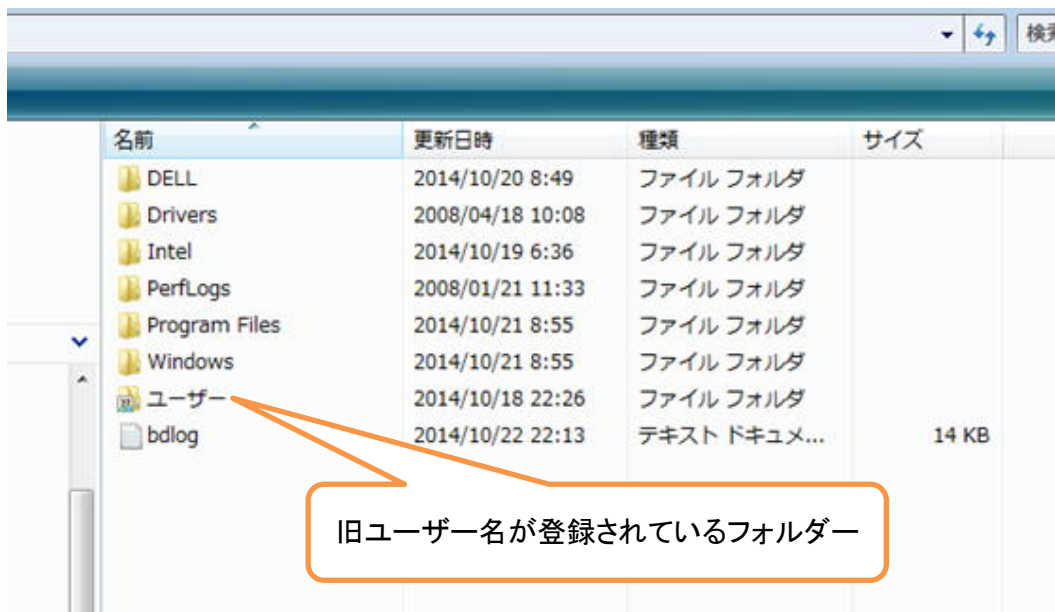
2) ユーザー名の変更とログインパスワードの設定

ユーザー名とパスワードの設定はそれほど難しくはない。「コントロールパネル」を開き、「ユーザーアカウントの追加または削除」をクリックして、従来のユーザー名を削除し、新しいユーザー名とパスワードを追加すればよい。

3) アプリケーション「弥生会計09」のインストールで問題発生

「弥生会計09」のインストールはうまくいき、動作することもわかった。次は、今までWindowsXPで使用していた「弥生会計09」のバックアップデータを基に戻すことをしなければならない。ところがなんとユーザー名は旧名のままである(つまりユーザー名が不一致)。不一致のままでも構わないが、やはり一致させておきたい。

そこで、OSのフォルダーを見ると「ユーザー」というフォルダーがあり、この中には旧名のユーザー名がある。これは簡単には変更も削除もできない。



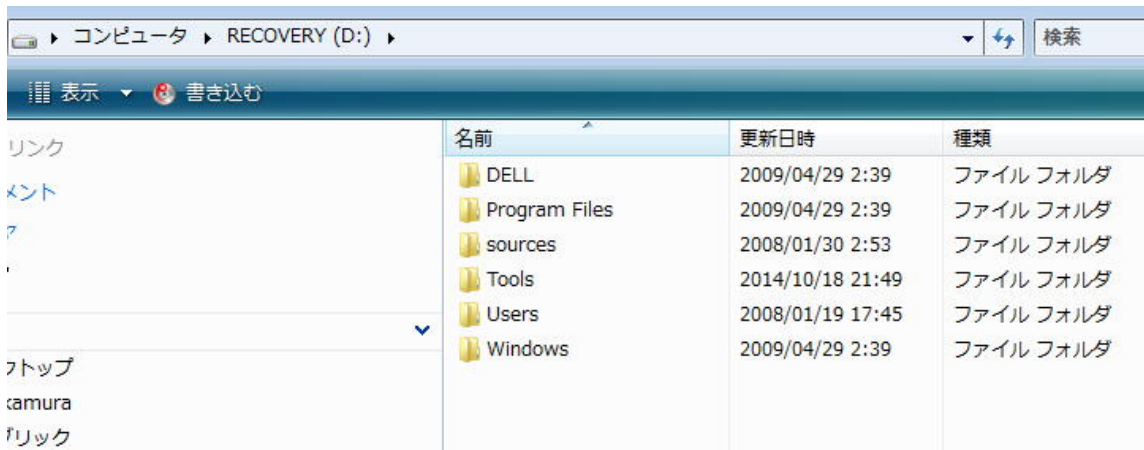
いろいろやっている内に、「弥生会計09」が起動しなくなりました。「SQLサーバーが見つかりません」と表示されるようになってしまった。このエラーメッセージはなんだろう。

4) Windows Vista 再インストールを試みる

ハードディスクをきれいにしてやるしかないので、Windows Vista を再インストールしようとしたところ、リカバリディスクがないことが分かった。VOSTRO1710 を購入したのは2009年5月である。その時の注文書にも納品書にも「リカバリディスク有」との記載はない。ハードディスクを見ると、OS (C) と RECOVERY (D) がある。



さて、この「RECOVERY」をどのように使えばいいのだろうか。「RECOVERY (D)」の中には以下のものが入っている。



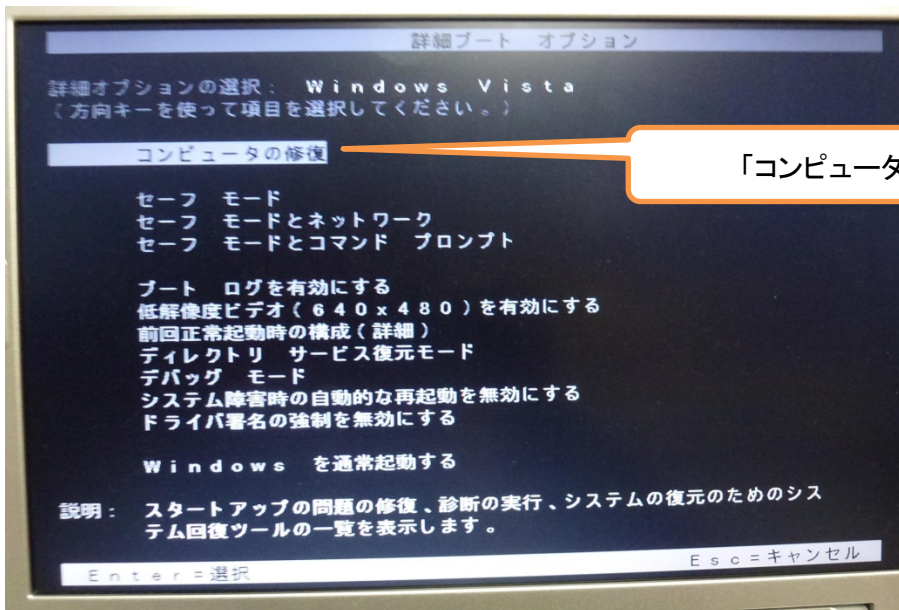
この「RECOVERY(D)」による再インストールについては、パソコンにより、メーカーによりやり方が違う。いずれも「ツール」を提供しているようである。ところが、「すべてのプログラム」を探してもそれらしきツールが見当たらない。DELLのホームページを検索してようやくやりかたが理解できた。DELLでは、「出荷時の状態に戻す」(このことを「イメージ復元」という)というのである。

3. Dドライブから出荷時の状態に戻す

その手順は以下のとおりである。

手順1. 電源ON、DELLロゴが表示されたら、「F8」を連打する

手順2. 「詳細ブートオプション」が表示される



手順3. ここで、「コンピュータの修復」を選択して、「Enter」をクリックする

手順4. ユーザー名とパスワードの入力を求められる(今まで使用したものをを入力する)

手順5. DELL出荷時の「イメージ復元」が実行される(約25分かかった)

手順6. 改めて、ユーザー名とパスワードの入力を求められるので、新規に設定する。

手順7. インストールが完了する。出荷時に購入したアプリケーション (Officeなど) やウイルスソフト

(Norton, Macafee など)使用しないものもインストールされているので、アンインストールする

手順8. モニターの画面解像度を調節する

「コントロールパネル」-「画面解像度の調整」にいき、(800×600を1280×800)に変更する
これで、デスクトップ画面がすっきりする

手順9. Sourcenext社の「スーパーセキュリティzeo」をインストールする

WindowsVistaの更新が行われていないので、繰り返し、WindowsUpdateを実施する。

「Windowsは最新の状態です。更新プログラムはありません」と表示されるまで継続する。

それでも、「スーパーセキュリティインストーラ お使いのOSは最新の状態ではありません。

WindowsUpdateを行い、最新の状態にしてから再度インストールをお試ください」と表示される。

WindowsVistaにはSP2があった。WindowsVistaSP2をインストールすると「スーパーセキュリティzeo」もインストールが完了した。

手順10. プリンターをインストール

手順11. 必要なアプリケーションをインストール

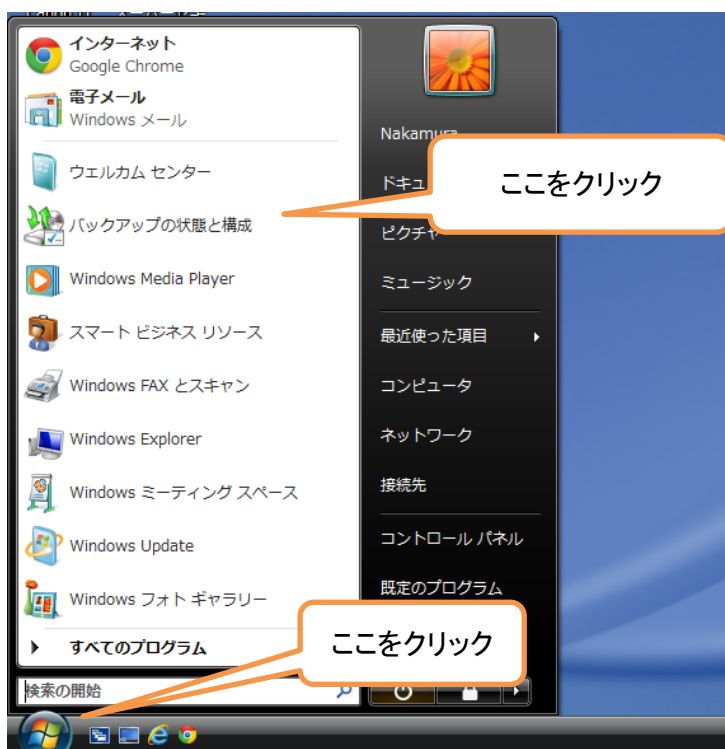
これで、Inspiron640mはWindowsVistaで特に問題なく動作できるようになった。

4. リカバリディスクの作成

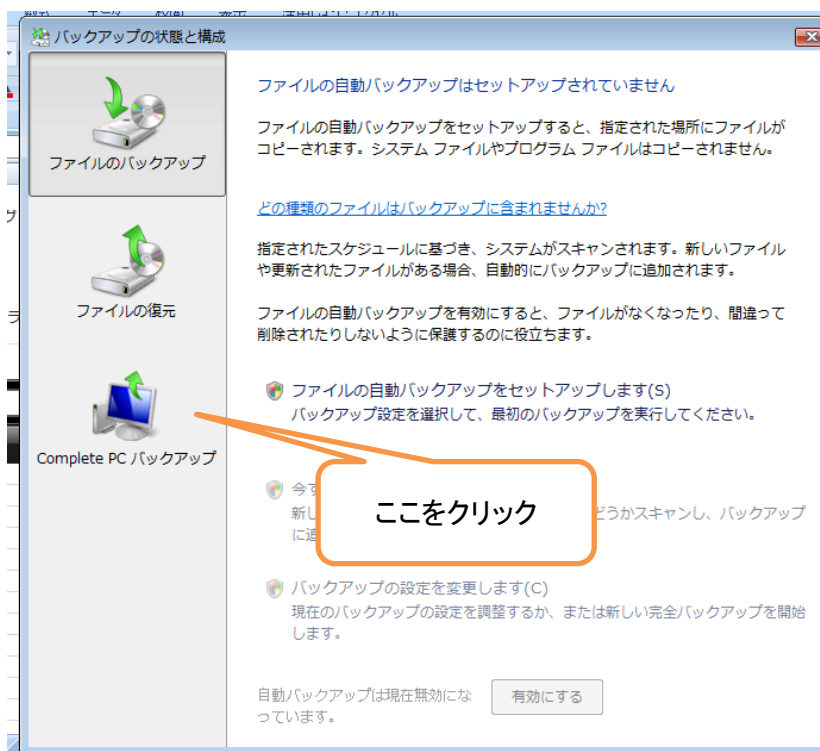
ハードディスク上にリカバリ情報があるということは、ハードディスクが故障したときのリスク対策をしておかなければならないことを意味する。リカバリディスクを作成しておかないとハードディスクが故障したとき復旧不能となってしまうのである。

なお、リカバリディスクの作成に際しては1GB以上のディスクを要求されるのでCDRには作成できないので、DVDメディアを使用する。

手順1. WindowsVistaには「スタート」ボタンがない。左下のマークをクリックすると下のようなメニューが表示される。「バックアップの状態と構成」をクリックする。



手順2. 下のよう「バックアップの状態と構成」が表示されるので、「CompletePC バックアップ」をクリックする



手順3. DELL Inspiron 640m の「DVD/CD-RW ドライブ(E)」にはDVD書き込み機能がないので、「DVR-U24EV」を使用する。ここにDVDメディアをセットする(フォーマットしていなくてもよい)。

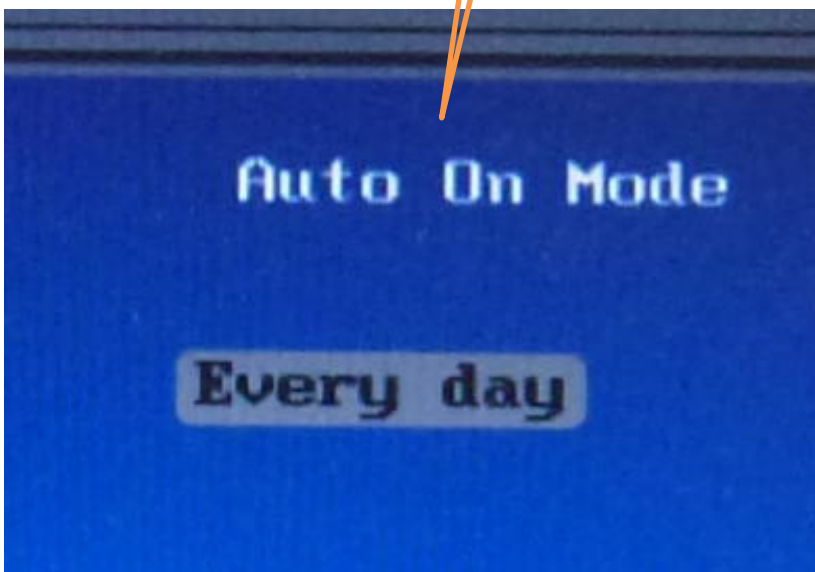
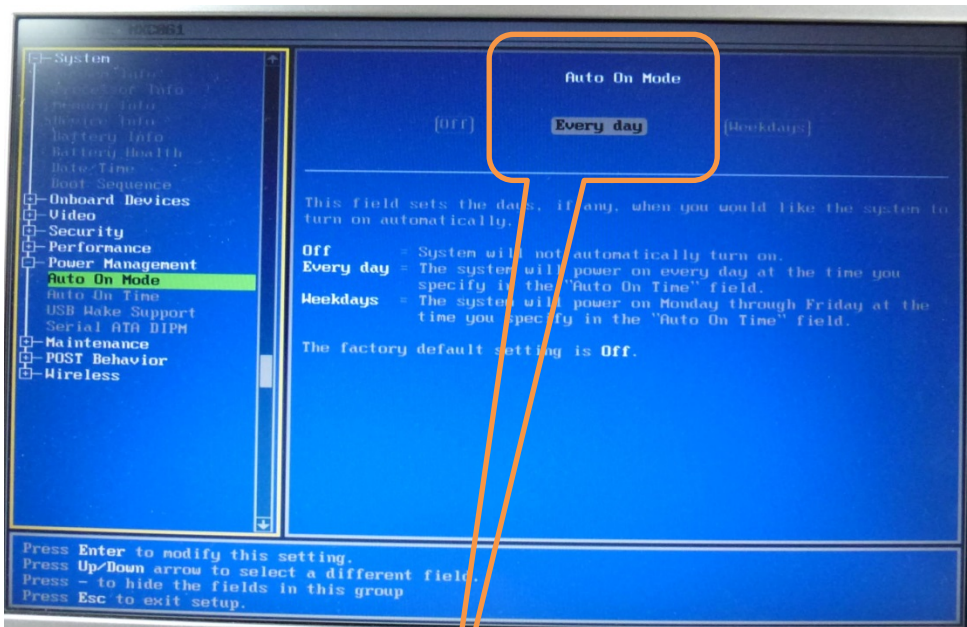
手順4. 「CompletePC バックアップ」をクリックする。CドライブとDドライブのバックアップが取得され、DVDメディアは合計6枚となった。

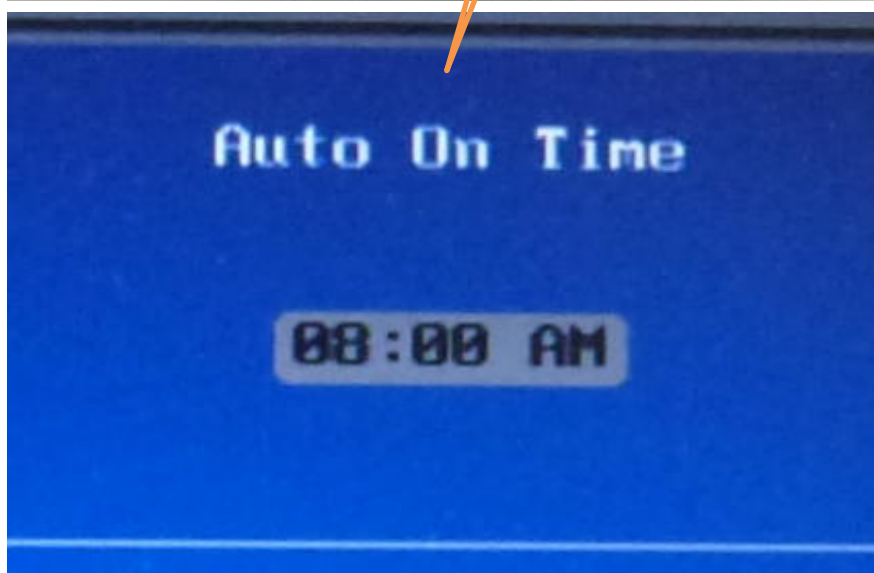
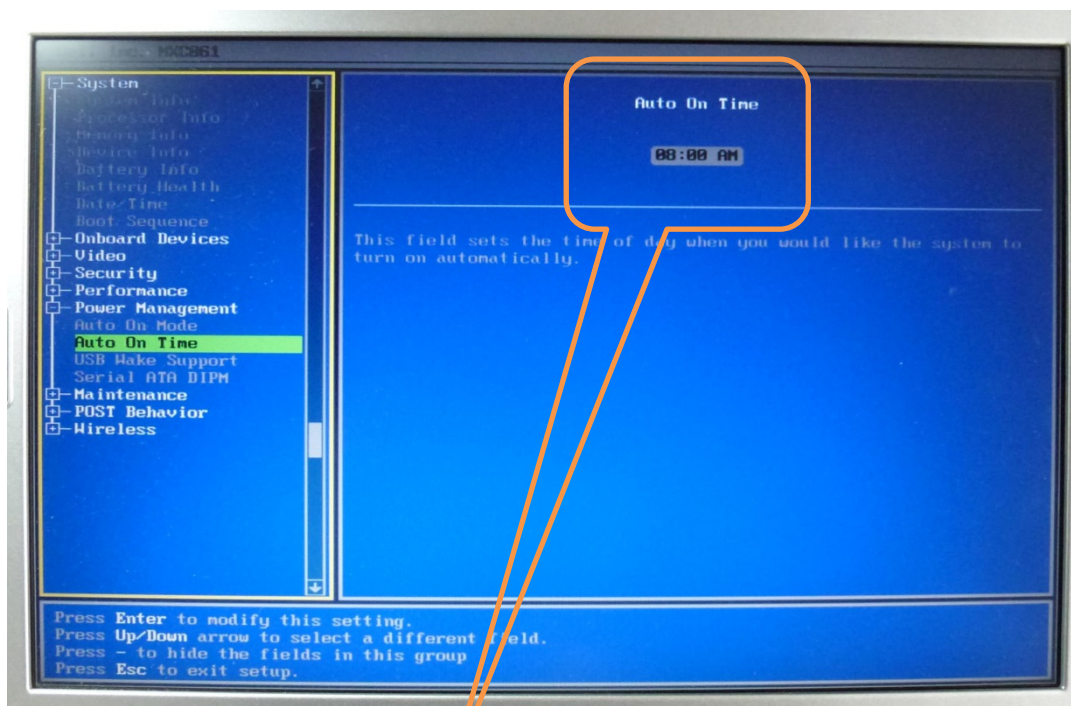
5. 奇妙な現象が発生

毎朝8時になると、自動的にパソコンに電源が入りWindowsVistaが起動し、パスワード入力待ち状態となるのである。Webをチェックしていたら、「コンピュータの電源を設定時刻に自動的にオンにする」というものがあり、BIOSの設定で可能とあった。そこで、BIOSを見たら毎朝8時に自動的に電源が入るようになっていたのである。

1) BIOSの設定

BIOSの設定に「Auto On Mode」と「Auto On Time」がある。「Auto On Mode」では「Every day」(毎日)となっている。かつ「Auto on Time」(時刻)で「08:00AM」に設定されている(いつどうしてこうなったかは不明)。したがって、毎朝8時になるとWindowsVistaが起動するのである。





2) BIOSの「Auto On Mode」の設定を変更
そこで、「Auto On Mode」をOFFにすればよいのである。

